

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2013年9月17日 第64号
TEL 592-5000 fax 571-4346
803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

「今迄で、一番の優れたもの」「心の憂いが晴れました」 参加者に大きな勇気を与えた水島朝穂憲法講演会でした

9月1日、9条の会・北九州憲法ネット第10回総会の記念講演は、早稲田大学教授の水島朝穂氏が行いました。84名の参加者が、「いま、憲法とは何かについて改めて考える」と題した憲法講演を熱心に聞きました。参加者に大きな感動と勇気を与えた講演会でした。

■憲法とは何か

今、安倍内閣による、「壊憲」の嵐が吹こうとしている中、「憲法を守ろう」「9条を守ろう」だけでは、ダメ。冒頭、水島朝穂氏は、私たちの行動スタイルから変える必要を説く。

「憲法とは何か」を曖昧にしていると言いつつ指摘する。そもそも、憲法に与えられている機能・役割の第一義的のものは、権力担当者にたいして政策的選択肢の幅を限定させること。「立憲主義」とよばれるが、主権者である国民が、時々の権力担当者の暴走を阻むためにあえて障害として設けたもの。立憲主義は、人類の英知である。安倍首相は、この障害物のハードルを出るだけ低くし、権力のフリーハンドルの範囲を広げたいと画策してきている。

憲法99条には、「憲法を尊重し、擁護する義務」のあるものを列挙しているが、この中には、国民はいない。国民に、憲法擁護義務はない。なるほど、「憲法を守りましょう」では、この本質から外れていたのだ。

立憲主義に関わって、民主主義との違いも話された。民主主義は多数決の制度であるが、立憲主義は少数決の制度である。少数の反対があれば、その決定はできない。

今原則に基づき、憲法を変えるには、変える側に高い説明責任がかぶさる。十分な情報開示と自由な討論や熟慮の時間が補償される必要を話された。

■過去の失敗を記憶する

「日本の憲法の徹底した9条の平和主義、さらに31条から40条までの刑事手続きの繰り返し出てくるのは、まさに、戦争中、戦前の失敗を教訓としている。」と水島氏は話を進める。終戦以前の、小林多喜二虐殺等の軍部・警察国



講演する水島朝穂教授

家による人権蹂躪の失敗を、二度とさせぬための用心なのである。アメリカでも、米国憲法13条から16条に、人権差別に関する条文が繰り返し出てくる。黒人差別の過去の失敗を記憶し、規制するものだ。

■安倍首相の危うさ

自民党の憲法草案を見ると、まさに、「立憲主

義不在」であり、いままでの権力規制から、国民の行為規範への重大な変質にいたるもの。しかも、96条先行改正し、法制局長官の入れ替えで、集团的自衛権行使への「戦略的転換」をもめざす。市民的自由の、かつてない危機が来ようとしている。

憲」の方向は破綻する。市民的自由の制限は、国民の反発を呼び、まして、周辺アジア諸国との「全週トラブル状態の深化」が進めば、国際的孤立が深まり、日本外交は行き詰る。この壊憲の方向に大きくストップをかける国民的取り組みを果たせれば、安倍政権の終わりが始まる。

■安倍政権の終わりの始まり

しかし、国民の声が高まれば、この「改憲」「壊



■大きな感動

講演終了後、参加者はおおきな感銘を受け、会場を出ても、講演の話がつづいていました。返されたアンケートでも、それが示されてされています。

以下、アンケートの幾つかを紹介します。

- 立憲主義の内容が良く判った。希望が持てた。憲法改悪反対は、理屈だけの空中戦ではダメで、戦前、如何に思想信条への自由が弾圧されたか、具体的に示していくべきだ。(70代男)
- 今まで、視聴した憲法講話の中で、一番すぐれもの。(70代男)
- 水島先生のユニークな発言、身振り、て振りが印象的でした。早稲田の学生は幸せだなと思います。私ももっともっと、憲法の勉強をして、正しい理解をし、正しく発言しなければと痛感しました。あいがとうございました。(60代女)
- 日本国憲法の「副読本」には欠陥があるという話は、目新しい話でした。植木枝盛と鈴木安蔵の話は、改めて憲法成立の学習をしなければいけないと強く思いました。(不記入)
- メチャ～面白く、メチャ～よく憲法が判りました。「憲法とは何か」の講演で眼がかなり覚めました。私は、「憲法を守ろう」とは応言していません。井上ひさしさんが、「守らせよう」が正しいとおっしゃっていました。それに納得してましたから。立憲主義と民主主義の違いが分かった事が大きいです。(70代女)
- コントが大変良かった。9条の会や憲法についての常識と思っていたことが、そうではなかった。目からうろこ式の、奥が深い話で、大変勉強になった。話に出てきたフジテレビの8年前のビデオを是非見たいです。複製してもらえませんか？
- 憲法は、我々が「守る」ものでなく、権力者に「守らせる」ものであると言われたこと。一番意味をなすものと判りました。お話は早口でしたが、大変面白く、判り易かったと思います。私は、戦争は公的な殺し合いです。絶対にやってはいけないことと考えています。殺すか、殺されるかですから、絶対にだめです。(70代男)
- 今までに聞いたことのない、興味あるお話でとてもよかったです。(70代女)
- 安倍さんの言動に怒りを感じ、人に平和の話をしても伝わらない。鬱々とした日頃の感情を払えるかと、講演会に参加させていただきました。平和を願う同じ思いの人々と共に、水島さんのお話を伺い、帰りのバスで貴重な資料を拝見して、心の憂いが晴れました。ありがとうございました。(60代女)
- 「96条の先行改正」論者の志の低さ、卑怯さが改めてよく判りました。立憲主義の大切さが具体的に理解できました。憲法は国民が守るものでなく、国家が、権力者が守るもの、99条の視点も大切です。(50代男)

9条の会・北九州憲法ネットが10回目の総会を開催

キリスト者9条の会の憲法コントも大好評

9月1日、13時20分から、ウエルとばた多目的ホールで「北九州憲法ネット第10回総会」が開催されました。司会は、諸隈美波弁護士が行い、まず、北九州青い空合唱団の素晴らしいうたごえ(「太陽の旗」の合唱でした。)で開幕です。



青い空合唱団のうたごえで開幕

荒牧啓一座長挨拶、三輪俊和副座長の総括案、方針案など一括提案がされました。討論の時間を利用しての、キリスト者9条の会による憲法コントが、会場を沸かせました。30分の総会時間でしたが、総会提案を全員の拍手で確認し、新しい憲法ネットの運動がスタートしました。



開会の挨拶をする新巻啓一座長



キリスト者9条の会のコントは、「自民党改憲案実施後の日常」第1幕 202X年1月10日



「軍事費増やすな」「前の憲法にまどせ」と政府に要求



憲法改悪反対のメッセージ傘でアピール



総会・記念講演には84名が参加

第3回北九州9条まつり協賛カンパありがとうございました。

前回以降6月3日まで到着分 高野和夫

カンパ有難うございます。そして、お願い。

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。出費多く毎回のニュース発行に四苦八苦しています。ニュースの発行体制維持のため、多くの皆様へ心からの訴えです。カンパを是非お願い致します。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号：01700-8-115768 名 義：「九条の会・北九州憲法ネット」

5月 安達恵美子 今井輝昭 江藤恭子 桑田勲二 水上平吉 高木巳安子 勝木多美 平岡博 竹中松夫 古賀三千人 玉井史太郎 6月 高野和夫 小川由美 野瀬秀洋 高智彦 清松賢治 川原巍誠 小沢和秋 毛利義広 小泉孝 上田義彦 上田秀子 多加喜悦男 石橋真智子 渡辺末子 7月 吉本まさ江 三輪俊和 竹中久 高野和夫 岩下照雄 山田成人 勝元紀 野瀬秀洋 戸上省二 戸上栄子 三浦日佐代 小沢和秋 山口司郎 小川由美 山口実子 川原巍誠 近藤孝 藤本久子 須崎和幸 8月 河野よう子 八記久美子 広津輝男 山本猛雄 諸岡昭三郎 勝野禎二 桑田勲二 佐多道人 中川紘子 田口政子 深川和久 9月 石橋真智子 荒牧啓一 浜口紀美子 **メッセージ** ●いつもニュースありがとう 勉強になります 7/16 T. K ●いつも通り会費のつもりで送ります 7/17 O. K ●暑くなりました。お身体ご自愛下さい。小額ですが、お役に立てば幸いです。7/22 O. Y ●「九条の会ニュース」ありがとうございました。僅かですがカンパです。 8/26 T. M ●第10回総会のために 9/4 A. K ●

「九条の会」メルマガ詳細版 2013年8月10日 第170号

編集後記～「九条の会」を意識しながら自民党が「改憲草案全国対話集会」

自民党が改憲草案のPRを目的に9月以降の開催を目指す全国対話集会は、党幹部らが地方に赴き、少人数で国民と意見交換する「ふるさと対話集会」の憲法版。昨年4月に発表した草案作りの経緯などを説明し、改憲の機運を盛り上げるのが狙い。この準備の中では、全国各地の草の根で奮闘する「九条の会」に対する露骨な対抗意識が煽られているようです。(T)

「九条の会」メルマガ詳細版 2013年9月10日 第172号

編集後記～品川正治さん、ありがとうございました

経済同友会終身幹事の品川正治さんが8月29日、亡くなられました。89歳でした。大変残念です。品川さんには全国各地の九条の会で熱のこもった講演を沢山して頂きました。戦争体験者としての品川さんのお話は聴く者に不戦・九条擁護の思いをしっかりとかためさせて下さいました。私たちはご遺志を受け継ぎ、折からの安倍首相らの改憲暴走に対決していきたいと思ひます。どうぞ安らかにやすみ下さい。

来月15日から臨時国会が始まるようです。集団的自衛権の憲法解釈の変更につながる国家安全保障会議(日本版NSC)設置関連法や、特定秘密保護法などの動きを阻むために互いに力を尽くしたいと思ひます。(T)